

第6次地域医療計画における災害医療に係る施策の方向性と対応事業

| 目指すべき方向性 | ○ 医療関係機関と防災関係機関が連携し、大規模災害発生時に「防ぎ得た死」が発生しないよう、医療救護体制を構築します。 ○ 災害拠点病院等の充実を図ります。 | | |
|--|---|---|--|
| 1 課 題 | 2 施策の方向 | 3 平成25年度 対応事業 | 4 平成26年度 対応事業 |
| (1)大規模災害時医療救護体制 ○ 内外からのDMAT、医療救護班の派遣調整機能 ○ 他都道府県へのDMAT、医療救護班の派遣体制 ○ 医薬品等の供給体制 ○ 医療機関の防災マニュアル・業務継続計画(BCP)の整備・訓練 ○ 災害対応がより長期に及ぶ場合の対策 ○ 公衆衛生活動との連携 | (1)大規模災害時の医療救護体制の強化 ○ 本県における大規模災害時の医療救護体制の強化 ・ 災害医療本部、地域災害医療支部の設置 ・ 災害医療コーディネーターの養成 ・ 地域災害医療連絡会議の設置 ・ 市町村災害対策本部内に医療対策部門の設置 ○ すべての医療機関で災害対策マニュアル、業務継続計画(BCP)の作成 (2)大規模災害医療救護活動マニュアルの検証と見直し ○ PDCAサイクルの確立 (3)中長期の避難に対応できる体制の構築 ○ 公衆衛生活動との連携体制の構築 | ○ 宮城DMAT連絡協議会を開催 ・ 宮城DMAT連絡協議会の体制見直し ○ 災害医療コーディネーター意見交換会の開催 ○ SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)本部に必要な資機材の一部を整備 ○ 病院におけるBCPの考え方に基づいた災害対策マニュアル作成の普及啓発 ・ 大規模災害時対応(BCP)研修 H26.3.29実施予定 【委託先:県医師会 対象:県内医療機関職員等】 ○ 【災害対応訓練】等を通してマニュアルを検証、見直しを検討中。 | ○ 宮城DMAT連絡協議会の開催 ○ 災害医療コーディネーター意見交換会の開催 ○ 災害医療コーディネーターを新規委嘱(仙台、栗原、登米、精神分野、周産期分野) ○ 地域災害医療支部の設置 ・ 保健所災害医療担当者会議 ○ 災害拠点病院連絡会議の開催 ○ 【災害対応訓練】等の検証を基にマニュアルを改訂 ○ JMAT体制整備に係る経費を補助(宮城県医師会) ○ 避難所におけるモバイルアセスメントシステム構築に要する経費を補助(東北大学病院) ○ DPAT体制整備(障害者福祉課) |
| (2)災害拠点病院等 ○ 医療施設の耐震化 ○ 機能強化 ○ 災害拠点病院への患者集中 | (4)災害拠点病院の強化と病院の耐震化の推進 ○ 基金活用による、災害拠点病院におけるヘリポートなどの施設・設備の強化・耐震化 ○ 災害拠点病院以外の病院への国庫補助活用による耐震化の推進 ○ すべての災害拠点病院へのDMATの配備 ○ 医薬品・水・食料・自家発電用燃料等の備蓄充実 ○ 基幹災害拠点病院の複数指定についての検討 ○ 災害時の医療機関受診について住民への啓発 | ○ 再生基金による災害拠点病院の機能強化 ・ 石巻赤十字病院、仙台市立病院、東北厚生年金病院 ○ 再生基金による病院の災害対策強化 ・ 赤石病院、塩竈市立病院、拓桃医療療育センター ○ 医療施設耐震化臨時特例交付金による耐震化 ・ 大崎市民病院、青葉病院 ○ 災害拠点病院5病院に新たにDMATを配備したことにより、全15災害拠点病院にDMATを配備。 ・ 公立刈田総合病院、仙台オープン病院、栗原中央病院、登米市民病院、気仙沼市立病院のDMAT資機材に係る費用を補助 ・ 登米市民病院のDMAT研修受講に係る費用を補助 ○ 2病院をDMAT指定医療機関に指定 ・ 栗原中央病院、気仙沼市立病院 ○ 災害拠点病院の施設及び設備の整備状況を調査【調査結果別添】 ○ 基幹災害拠点病院の複数指定を検討中 | ○ 再生基金による災害拠点病院の機能強化 ・ 石巻赤十字病院、仙台市立病院、仙台医療センター、坂総合病院 ○ 再生基金による病院の災害対策強化 ・ 拓桃医療療育センター ○ 医療施設耐震化臨時特例交付金による耐震化 ・ 青葉病院 ○ 災害拠点病院3病院を新たにDMAT指定医療機関に指定、全15災害拠点病院をDMAT指定医療機関に指定 ○ 災害拠点病院の施設及び設備の整備状況を調査 ○ 基幹災害拠点病院の複数指定を検討継続 |
| (3)災害時通信手段 ○ 通信手段の確保 ○ 地域における情報網の整備 ○ 救急医療情報システムへの入力負担 | (5)情報通信機能の充実強化 ○ 県内全病院の宮城県救急医療情報システムへの加入促進 ○ 救急医療情報システム機能の改善 ○ 救急医療情報システム、MCA無線等の使用方法の習熟 ○ 地域における情報網の整備 | ○ 県内全病院の宮城県救急医療情報システムへの加入医療機関 H25 病院 106病院/全147病院 2診療所 ・ 未加入病院への加入依頼通知送付 ○ 救急医療情報システム、MCA無線機使用方法の習熟 ・ 保健所職員を対象としたMCA無線機操作説明会の開催 ・ 救急医療情報システム、MCA無線を活用した訓練の実施【災害対応訓練】 ○ MCA無線の整備 ・ 県保健所9箇所MCA無線を整備 | ○ 宮城県救急医療情報システム未加入病院への加入働きかけ ○ 救急医療情報システム機能の改善 ○ 救急医療情報システム、MCA無線機使用方法の習熟 ・ 救急医療情報システム、MCA無線を活用した訓練の実施【災害対応訓練】 ○ MCA無線の整備 ・ 未整備病院に対してMCA無線整備費の一部を補助 |
| (4)災害対応訓練・研修体制 ○ DMAT、災害医療コーディネーターの養成 ○ 医療従事者への災害対応訓練 | (6)DMAT、災害医療コーディネーターの養成 ○ DMAT、災害医療コーディネーター養成のための研修の実施 (7)災害対応研修・訓練の推進 ○ 医療従事者を対象とした災害対策研修会の開催 ○ 宮城県総合防災訓練、東北ブロックDMAT参集訓練等を通しての医療・防災・行政機関との連携の推進 | ○ 災害対応研修 ・ 大規模災害時対応訓練研修 【委託先:仙台医療センター】 参加:仙台医療センター職員 約80名、災害拠点病院:7病院 20名 ・ 大規模災害時対応(BCP)研修 H26.3.29実施予定 【委託先:県医師会 対象:県内医療機関職員等】 ・ 宮城県DMAT隊員養成研修 【委託先:東北大学病院】 参加:11病院 55名 ・ 宮城県災害医療コーディネーター研修 H26. 3. 22~23実施予定 【委託先:災害医療ACT研究所 対象:災害医療CD等】 ・ 宮城県災害医療従事者研修 H26. 3. 21実施予定 【委託先:災害医療ACT研究所 対象:行政職員、医師会職員等】 ・ 厚生労働省主催災害医療従事者研修(受講:1病院) ○ 災害対応訓練 ・ 6.12県民防災の日総合防災訓練(県庁2F講堂) ・ 8.31内閣府広域医療搬送訓練(仙台空港) ・ 9.1総合防災訓練(川崎町総合運動場) ・ 10.5~6東北ブロックDMAT参集訓練(仙台地域・石巻地域) ・ 11.21仙台空港航空機事故対策総合訓練(仙台空港) ・ 2.4~2.6陸上自衛隊東北方面隊震災対処訓練 図上訓練(県庁、多賀城駐屯地) ○ 厚生労働省主催DMAT関係研修・訓練 ・ DMAT隊員養成研修(受講:3名)・統括DMAT研修(受講:3名) ・ DMAT技能維持研修(受講:61名)・DMATロジスティック研修(受講:24名) ・ DMAT実機訓練(受講:1医療機関5名) | ○ 災害対応研修 ・ 宮城県DMAT隊員養成研修 ・ 宮城県災害医療コーディネーター研修 ・ 宮城県災害医療従事者研修 ○ 災害対応訓練 ・ 6.12県民防災の日総合防災訓練(県庁) ・ 総合防災訓練(亘理町) ・ 東北ブロックDMAT参集訓練(青森県) ・ 東北方面隊震災対処訓練「みちのくアラート」(自衛隊) ・ 政府総合防災訓練(九州) ○ 厚生労働省主催DMAT関係研修・訓練 ・ DMAT隊員養成研修・統括DMAT研修 ・ DMAT技能維持研修・DMATロジスティック研修 ○ 厚生労働省主催災害医療コーディネーター研修 |
| (5)医療依存度の高い要援護者対策 ○ 医療機関への移送対策 ○ 在宅要医療患者の災害時対応 | (8)医療依存度の高い要援護者対策 ○ 安否確認、医療機関への移送体制の構築 ○ 在宅要医療者の医薬品提供体制を含めた医療体制の整備 | ○ 避難行動要支援者等に対する支援ガイドライン策定(保健福祉総務課) ○ 宮城県災害時こころのケア活動マニュアル策定(精神保健福祉センター) | |
| (6)特殊災害対策 ○ NBC災害に対応できる人材の確保 | (9)特殊災害対策 ○ NBC災害に対応できる人材の育成 | | |
| (7)緊急被ばく医療 ○ 被ばく医療体制の構築 | (10)緊急被ばく医療 ○ 被ばく医療体制の見直し | ○ 宮城県地域防災計画【原子力災害対策編】の修正(原子力安全対策課) ○ 原子力防災訓練(被ばく医療資機材搬送訓練) | ○ 原子力緊急被ばく医療マニュアルの改訂(原子力安全対策課) |